

平成24年9月5日

平成23年度

決算審査監査委員報告

それでは、平成23年度決算等の審査結果につきまして、監査委員を代表して、私からその主な内容について御報告させていただきます。

はじめに、地方自治法の規定に基づき審査に付されました平成23年度桑名市一般会計及び特別会計歳入歳出決算につきましては、審査の結果、各決算書及び決算附属書類は、地方自治法施行規則に定められた様式により作成され、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められました。

決算全体を見ますと、歳入総額725億6,360万円余、歳出総額704億2,595万円余で、差引き21億3,764万円余の黒字決算となり、前年度に比べますと歳入総額で3.9%、歳出総額で3.7%、それぞれ増加いたしております。

また、主な財政指標といたしまして、財政力指数は0.897で、前年度より0.042ポイント低下しておりますが、経常収支比率につきましては、94.2%で0.1ポイント改善しております。

まず、一般会計の決算状況につきましては、歳入歳出差引額（形式収支）は14億75万円余であり、これから翌年度へ繰り越すべき財源1億8,174万円余を差し引いた12億1,901万円余が実質収支額となっております。

科目別の歳出内容は、お手元の意見書に記載のとおりでございます。

次に、特別会計の決算状況でございますが、国民健康保険事業をはじめ、7つの特別会計の歳入歳出差引総額は、7億3,689万円余で、前年度に比べ1億8,988万円余、34.7%増加しております。

各特別会計の決算内容は、意見書に記載のとおりでございます。

また、各基金の運用状況を審査した結果、設置目的に沿って適正に運用されており正確であると認められました。

一般会計及び特別会計の決算審査の概要は、以上のとおりでございます。

意見書にも述べておりますが、収入未済額につきましては、負担の公平性や財源確保の観点から、より効果的な収納対策と新規未納者の発生防止に今後も取り組まれることを望むものであります。一方、歳出につきましては、厳しい財政状況の中で、種々の事業が着実に推進され、予算執行も適正に処理されていると認められました。しかしながら、決算時に多額な不用額が発生している事例も見受けられますので、適切な予算額の算定はもとより、不用額が見込まれる場合は、早期の減額処理をするなど、予算の有効な活用に努められるよう望むものであります。

次に、地方公営企業法の規定に基づき審査に付されました平成23年度桑名市

水道事業会計、桑名市下水道事業会計の決算審査の結果につきましては、決算書及び附属書類は関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められました。

桑名市水道事業会計の業務実績、収入及び支出の状況等につきましては、お手元の意見書に記載のとおりでございます。

業務実績中、有収水量については、前年度より1.5%減少しております。

近年、景気の低迷や節水意識の向上などが影響して、今後も水需要の大幅な増加は期待できないものと予想されます。一方で、老朽化した施設の更新や耐震化の推進などに多額の費用が必要となることが見込まれますことから、今後の事業運営に当たっては、引き続き経営の効率化を推進し、中・長期的な経営の安定に向けて、より一層の努力を望むものであります。

桑名市下水道事業会計の業務実績、収入及び支出の状況等につきましては、お手元の意見書に記載のとおりでございます。

下水道整備事業は、建設投資を継続的に実施していく必要がありますことから、今後の事業執行にあたっては、中長期的な財政計画のもと、収支のバランスを考慮しつつ、予算の効率的な執行と経費の節減を図るなど、健全な事業運営に努められるよう望むものであります。

次に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づく審査結果につきまして、御報告させていただきます。

総合意見といたしましては、審査に付されました各指標の算定基礎となる事項を記載した書類は、いずれも法令に準拠し、指標の計数は正確であると認められました。

平成23年度の健全化判断比率を個別に申し上げますと、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字が生じていないため算定されず、実質公債費比率につきましては11.1%となっており、前年度より0.7ポイント改善され、早期健全化基準の25.0%と比較しても、良好な状態にあると認められました。

また、将来負担比率は130.5%となっており、前年度より16.7ポイント改善され、早期健全化基準の350.0%と比較しても、良好な状態にあると認められました。

さらに、公営企業資金不足比率にかかる審査の結果は、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計のいずれも、書類は法令等に準拠して適正に作成されており、計数は正確であると認められ、資金不足額が生じな

いため、資金不足比率は算定されず、経営状況は良好であると認められました。

以上、極めて概略的な内容となりましたが、平成23年度桑名市一般会計及び特別会計、公営企業会計の決算、並びに財政健全化の審査結果についての報告とさせていただきます。